

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		霞ヶ浦用水農業推進協議会運営費負担金				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	040102000836
政策体系		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	050101
総合計画の施策名	0401		農林業の振興		主要事業			農林課	
政策名	04		活力ある産業のまちづくり		市長マニフェスト				
施策名	01		農林業の振興		未来PJ事業		グループ	農林G	
手段名	02		②農業の効率化推進		合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	05	00	霞ヶ浦用水事業		
法令根拠						単年度繰返し (年度~)			
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 ・霞ヶ浦用水農業推進協議会運営事業によって、市内の受益地区の霞ヶ浦用水事業を推進する負担金 【担当が行う業務の手順】 ・市内の受益地区に負担金の処理。 ・推進活動が遂行しているか確認する。 【事業費】 ・桜川支部 348,000円	・支部補助金交付申請事務 ・支部補助金実績報告事務 ・推進活動の遂行状況確認や指導

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・支部補助金交付申請事務 ・支部補助金実績報告事務 ・推進活動の遂行状況確認や指導	推進活動件数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
霞ヶ浦用水事業受益者	岩瀬地区組合員数	人	2,696.00	2,696.00	2,696.00	2,696.00	0.00
	真壁地区組合員数	人	1,516.00	1,516.00	1,516.00	1,516.00	0.00
	大和地区組合員数	人	892.00	892.00	892.00	892.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業の適正かつ効率的な運営を確保し、農家の利益増進を図る。	負担金	千円	900.00	900.00	900.00	900.00	0.00
	推進活動員数	人	199.00	199.00	199.00	199.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	900	900	900	
		事業費計(A)	千円	900	900	900	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		
	述べ業務時間	時間	30.00	30.00	30.00		
	人件費計(B)	千円	88	88	88		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	988	988	988		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	900				
	合計	900				900

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
	市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業		

事務事業名	霞ヶ浦用水農業推進協議会運営費負担金	事務事業No.	40102000836	所属課	農林課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成2年事業を開始され受益者に安定した用水を供給している、また受益地に対し推進を図っている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	農地の安全や農業経営の安定化が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	霞ヶ浦用水は、公共性が高く、国・茨城県の事業としても実施されている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	霞ヶ浦用水事業の継続
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	土地改良関係の各種事業を効果的にじっしする事が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	霞ヶ浦用水事業関係の各種事業を効果的に実施することが困難になる。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担の適正が図られる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事務事業の円滑な推進を図る。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持																								
	低下																								

(6) 事務事業優先度評価結果
成果優先度評価結果
コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認